

7-3 近畿・中国・四国地方の地震活動（1995年11月～1996年4月）

Recent Seismic Activity in and around kinki, Cyugoku and Shikoku District(November, 1995-April, 1996)

大阪管区気象台

Osaka District Meteorological Observatory, JMA

第1図は、1995年11月から1996年4月までの大阪管区気象台で決定した震央分布図である。日付けマグニチュード（以下M）などが付してあるのは、M4.0以上の地震で合計10個発生している。このうち最大の地震は、2月7日の福井県嶺北地方の地震（M5.0）であった。この地震と2月12日福井県沖の地震（M4.5）については別項で言及済みである。

11月24日に紀伊水道でM4.1の地震が発生したが、2カ月余り前の9月9日にはこの南東側でM4.8の地震が発生している。

12月22日21時41分には、紀伊水道（和歌山市付近）でM4.1の地震が発生した。その後、30日までに合わせて6個の有感地震が同地域で観測された。この付近の地震は続発する傾向があり、最近では1995年6月6日から7日にかけて9個の有感地震が観測されたことがある。

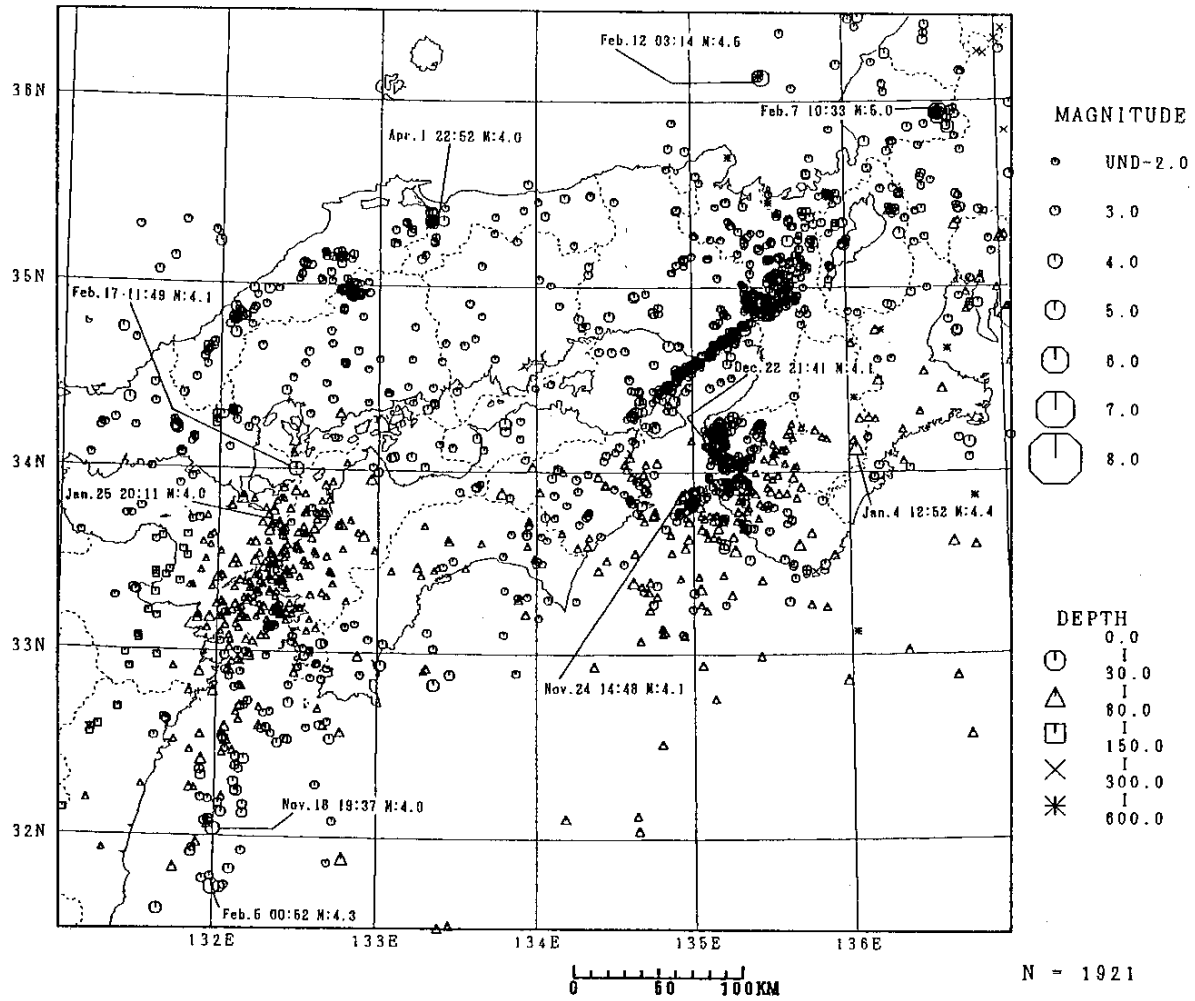
2月17日に安芸灘でM4.1の地震が発生したが、この地震は深さ15kmと浅く、この付近ではこういったタイプでM4を超えるような地震は珍しく、1926年以降では初めてである。

4月1日には、島根県東部でM4.0の地震が発生した。その後、10日までに合わせて11個の余震が同地域で観測された。

第2図では、「兵庫県南部地震」の余震活動及びそのすぐ北東側の兵庫県猪名川町の地震活動について示した。「兵庫県南部地震」の余震活動は、その後も引き続き順調に減衰している（第2図-①，②）。この間の最大余震は12月22日の大阪湾、同27日の播磨灘の地震で、いずれもM3.9、また、4月30日までの余震総回数は2437回、有感回数は395回であった。兵庫県南部地震の余震域のすぐ北東側の兵庫県猪名川町付近では、1月3日20時55分にM3.4の地震が発生した。その後、猪名川町付近を震源とする有感地震が、5日までに合わせて10個観測された。しかし16日以降は無感地震も含め震源決定できるような地震は観測されていない。この付近では、1994年7月27日から31日にかけてM3.5を最大に6個、11月9日からM4.1を最大に年末にかけて96個の地震が観測された。いずれの活動域も若干ずれており、今回は11月からの活動域のすぐ南側で発生したものである（第2図-③，④，⑤）。

近畿・中国・四国地方の震央分布図

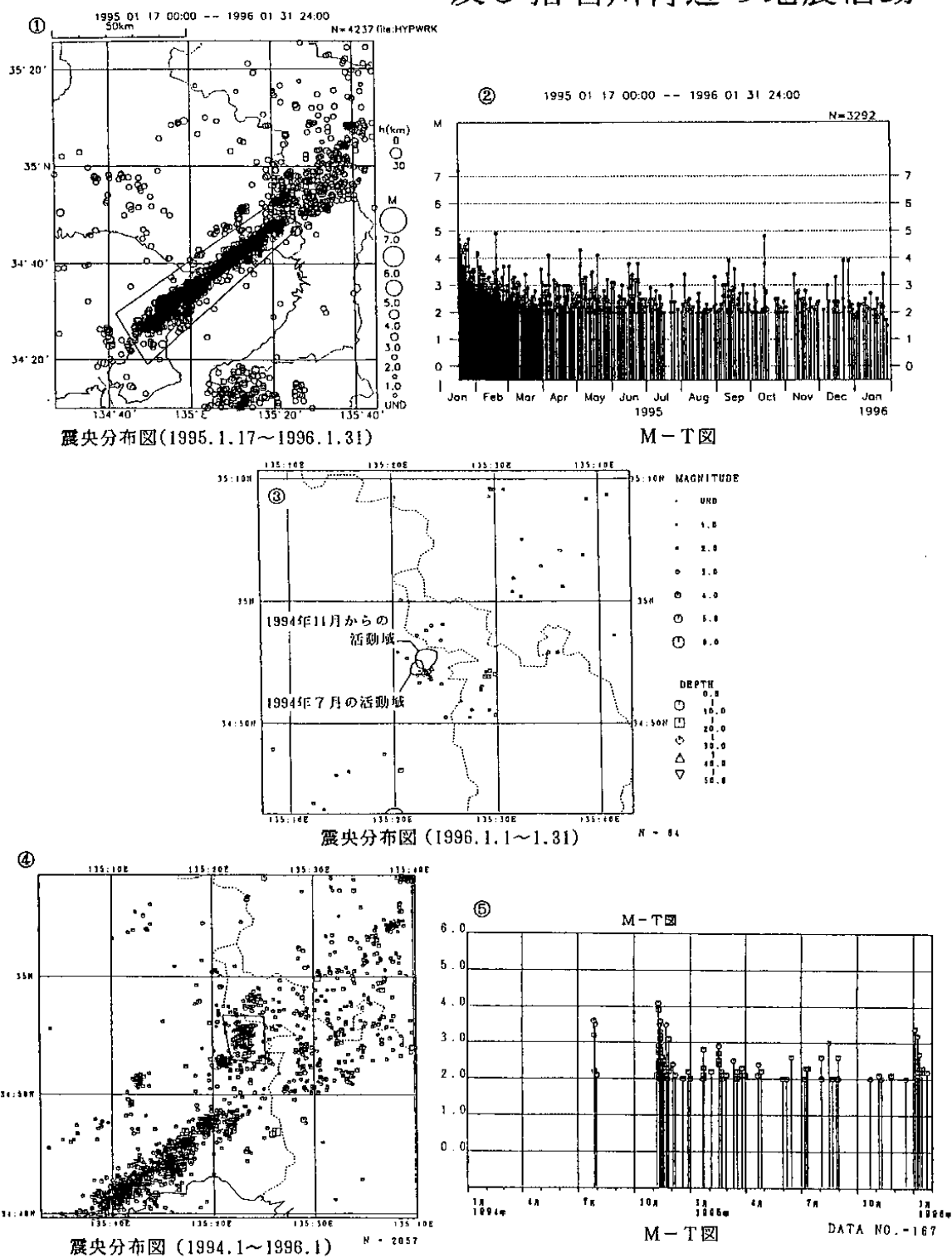
(1995/11/1 0:0-->1996/4/30 24:0)



第1図 震央分布図 (1995年11月~1996年4月)

Fig. 1 Epicentral distribution (November, 1995-April, 1996).

「兵庫県南部地震」の余震 及び猪名川付近の地震活動



第2図 兵庫県南部地震の余震及び猪名川付近の地震活動

①震央分布図 ②M-T図 ③震央分布図 ④猪名川町周辺の震央分布図 ⑤M-T図

Fig. 2 Aftershock activity of the 1995 Hyougo-Nambu Earthquake and seismicity of Inagawa Town vicinity.

①Epicentral distribution ②M-T diagram ③Epicentral distribution

④Seismic activity in and near Inagawa Town ⑤M-T diagram.